

2020(令和2)年11月12日

三角西港の歴史的建造物で耐震工事一般公開

～11月14日に築約130年の旧三角海運倉庫（西港明治館）で～

【経緯】

登録5周年を迎えた世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を構成する三角西港内の歴史的建造物「旧三角海運倉庫」。

その耐震補強工事を、11月14日(土)に一般公開します。当日は、担当職員が建造物の歴史や工事の意義などについて説明を行います。

【目的・ねらい】

1887(明治20)年の三角西港築港とともに建設され、築130年ほど経過している旧三角海運倉庫では、老朽化に加え現在の耐震基準に満たないため、6月から来年3月にかけて耐震補強工事を行っています。

この工事は、文化財保護の観点からオリジナル部材や構造を尊重して行う必要があり、職人による伝統的な施工技術に加え、現代の耐震技術を採用した工夫など、一般的な新築・耐震工事とは異なります。工事の詳細部分は、完成後には見えなくなってしまうため、非常に貴重な公開の機会です。

- | | | | |
|---|------|---|---|
| 1 | 日時 | 令和2年11月14日(土)
1回目 10時～ 2回目 13時～ | ※雨天決行
※同じ内容です。 |
| 2 | 場所 | 三角西港内 旧三角海運倉庫 宇城市三角町三角浦 1286番地1 | |
| 3 | その他 | 見学料無料、事前申込不要。駐車場あり |  |
| 4 | 注意事項 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内部見学はグループを作り順番に行います。マスク着用のうえご参加ください。 | |

登録5周年記念フラッグ

問い合わせ 教育委員会文化課 豊住部次長 藤川係長 (担当:文化財世界遺産係)
〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85
TEL:0964-32-1111(代表) FAX:0964-32-1137